

ファイル名の長さ

2017年10月30日

ファイル名は、ファイルの内容を分かりやすくするため長くなりがちです。

ファイル名の長さが長いとフィルのコピーや移動、削除ができなくなるとされていますし、ファイル名を短くもできないとされています。どの長さまでならエラーにならないのでしょうか。

コピーや移動、削除をするファイルを指定するときはファイル名だけではなく、どのフォルダーに入っているかを指定しなければなりません。これを「パス」といいます。「パス」のうちドライブ名（ファイルを管理する基点でCドライブ、Dドライブなど）から指定するときは「絶対パス」といいます。

「パス」の長さにはフォルダー名の長さ以外にフォルダー名の間にある区切りに使われる「\」も含まれます。「絶対パス」の長さにはさらにドライブ名（C:やD:など）と区切りの「\」の計3文字が含まれます。

従って、コピーや移動、削除するとき対象のファイルを指定するときの長さの制限は、ファイル名だけでなく「パス」も対象となります。

Microsoft サポートの「Office ドキュメントを開こうとすると、エラー メッセージが表示されます。」(<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/325573/you-receive-error-messages-when-you-try-to-open-an-office-document>) では下記のように書かれています。

この問題は、作成して、Office 製品でファイルを保存、259 文字に制限があるために発生します。また、保存するか、ファイルのパスが適切なプログラムは、次の条件を満たしている場合は、ファイルを開くときにエラー メッセージが表示されます。

Word:パスとファイル名の拡張子を含む、ファイル名の長さの合計は 259 文字を超えています。

PowerPoint:パスとファイル名の拡張子を含む、ファイル名の長さの合計は 259 文字を超えています。

Access:パスとファイル名の拡張子を含む、ファイル名の長さの合計は 259 文字を超えています。

Excel:パスとファイル名の拡張子を含む、ファイル名の長さの合計は、218 文字を超えています。

注: この制限には、ドライブ、フォルダー名に文字、フォルダー、およびファイル名の

文字間の円記号を表す 3 文字が含まれています。

上記文章には、英文を機械翻訳しているため理解しがたい部分がありますが、各アプリケーションの絶対パスの長さ+ファイル名の長さ+「. (ピリオド)」の長さ+拡張子の長さは、Word (拡張子 docx) は 259 文字まで、Excel (拡張子 xlsx) は 218 文字まで、PowerPoint (拡張子 pptx) は 259 文字まで、Access (拡張子 accdb) は 259 文字までとなっています。

ファイルフォーマットが NTFS (Windows10 の標準ファイルフォーマット) でフォルダ名やファイル名に Unicode が利用できる場合は、英数字 (1 バイト文字) も日本語 (2 バイト文字) も文字数で数えられます。

フォルダ名を長くし、フォルダーの階層を深くするとパスの長さが長くなりますし、フォルダーの階層を深くするとファイルを見つけることがむづかしくなりますので、階層は 5 階層くらいまでが良いと思います。

ファイル名も、中アイコンで表示したとききちんと読める全角 24 文字くらいにするのが良いと思います。